

困難を抱えて生きる子ども・若者たちのなかには、児童虐待を受けた経験をもつ人たちも多くいます。虐待を受けた経験は、その後も精 神面などに大きなダメージを残しますが、当事者の抱える生きづらさを実感をもってイメージすることは、なかなか難しいかもしれません。 若者おうえん基金の支援者の皆様にそんな見えづらい虐待を受けた経験をもつ人たちのリアルな姿を知っていただきたく、ドキュメンタリー 映画『REALVOICE』の上映会を開催します。上映後には、中村陽一さん(立教大学名誉教授)、栗林知絵子さん(豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク)、同映画にも出演している当事者の若者たちをゲストに招いたトークセッションもおこないます。

HIRAKU IKEBUKURO 企画展「21.5世紀の地域デザイン」関連企画 東京上映会: || 月24日(日)

2024年11月24日(日) 17:00~20:00 ※開場 16:30 日時

HIRAKU IKEBUKURO 01 会 場

→東京都豊島区上池袋 2-2-15 ※JR 池袋駅東口より徒歩 12 分

無料 参加費

16:30 開場 **プログラム**)

17:00 開会・挨拶

17:10 『REALVOICE』上映 (90分)

18:40 休憩

18:50 トークセッション

中村陽一さん(立教大学名誉教授) ゲスト

栗林知絵子さん(豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク)

AKIRA さん (『REALVOICE』出演者)

なおとさん (『REALVOICE』出演者)

19:50 閉会・挨拶

20:00 終了

※首都圏若者サポートネットワーク公式ウェブサイト (wakamono-support.net) のお知らせ記事にもリンクがあります



【主催】首都圏若者サポートネットワーク

【協力】一般社団法人ソーシャルビジネスネットワーク、一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボ

【お問合せ】info@wakamono-support.net 首都圏若者サポートネットワーク(担当:池本)



中村陽一さん



栗林知絵子さん



AKIRA さん



なおとさん



申込フォーム QR



クラウドファンディング 実施中!

目標金額800万円 ご支援お願いいたします! /

私たち首都圏若者サポートネットワークは、児童養護施設や里親といった「社会的養護」のもとで育った人をはじめとする、親を頼ることができない子ども・若者たちを支援するネットワークです。こうした子ども・若者たちは、ひとたび制度の外に出てしまうと、頼ることのできる大人がいないために、学び、働き、暮らすうえで、さまざまな困難に直面します。コロナ禍や物価上昇により、支援団体に寄せられる親を頼ることができない孤立した若者からの SOS は近年ますます増加しています。

そんな若者たちを支援のプロと共にサポートし、彼らが将来をあきらめずに生きていける社会づくりに取り組む基金が、今回ご寄付を募る「若者おうえん基金」です。皆さまからいただくご寄付を、若者に寄り添った伴走支援をおこなう支援(伴走)団体に助成することで、生きづらさや困難を抱えた子ども・若者たちに支援を届けています。あたたかいご寄付・応援を何卒よろしくお願いします。

ご支援(寄付)の方法

①プロジェクトページにアクセス

QRコードを読み込み、または次のワードで検索



若者おうえん基金 READYFOR

Q

② 支援コース (リターン) を選択

「プロジェクトの支援にすすむ」ボタンをクリックし 選択画面から支援コースを選択

プロジェクトの支援にすすむ

③ 案内にそってお手続きをすすめる

新規登録・ログイン後、サイトの案内にそって お支払い方法などを入力し、ご支援完了

首都圏若者サポートネットワーク事務局

東京都港区新橋 4-24-10 アソルティ新橋ビル 5 階 ユニバーサル志縁センター内 TEL \rightarrow 03-6450-1820 / FAX \rightarrow 03-6450-1821 / MAIL \rightarrow info@u-shien.jp



ご支援よろしくお願いいたします

このプロジェクトへのご寄付は 税制優遇の対象となります。 詳しくは、クラウドファンディングの プロジェクトページをご覧ください。